

3. 消防財政

1. 市町村の消防費

(1) 消防費の決算状況

消防費の決算状況は、下表のとおりである。

市町村普通会計及び消防費の決算状況

(単位：億円、%)

項目		17年度	16年度	増減額	増減率
普通会計歳出総額(a)	一部事務組合 を含む	17,805	17,828	-23	-0.13
消防費歳出総額(b)		1,035	1,049	-14	-1.33
(b) / (a)		5.8	5.8		
普通会計歳出総額(c)	一部事務組合 を除く	17,500	17,548	-48	-0.27
消防費歳出総額(d)		861	878	-17	-1.94
(d) / (c)		4.9	5.0		

また、消防費の市町村普通会計歳出総額に占める比率を市町村別にみると、最高は酒々井町の8.3%であり、次いで佐倉市の7.7%、勝浦市の7.5%となっている。

(2) 1世帯及び住民1人あたりに支出した消防費

市町村における平成17年度消防費の1世帯当たり及び住民1人当たりの県平均額は下表のとおりである。

市町村別に見ると、1世帯当たりの額の最高は、芝山町の154,152円であり、次いで本埜村の77,312円、大多喜町の77,198円の順である。

一方、住民1人当たりの消防費を市町村別にみると、芝山町の46,962円を最高に、南房総市の25,686円、鋸南町の25,043円の順となっている。

1世帯当たり、住民1人あたりに支出した消防費の推移

(単位：円)

項目・年度		13	14	15	16	17
1世帯あたり	組合 含む 一部 事務	41,330	39,714	39,735	45,497	44,334
住民1人あたり		18,327	17,611	17,650	17,403	17,134
1世帯あたり	組合 除く 一部 事務	39,366	38,587	38,905	38,106	36,902
住民1人あたり		14,707	14,416	14,550	14,576	14,262

(3) 経費の性質別内訳

消防費の性質別内訳は、次の図のとおりであるが、消防費のうち人件費がかなり高い割合を占めており、全体に占める割合は 66.1%である。

平成 17 年度市町村別消防費性質別歳出決算額の割合（一部事務組合を含む）

単位：百万円

